

2019年度 東海第二発電所 防災訓練実施計画書

【要素訓練】

1. 訓練目的

現状のプラント状態（定期検査停止中）において、原子力災害に至る可能性がある使用済燃料プール（以下「SFP」という。）水位低下事象に対し、災害対策本部と現場間の連携を含め実働で対応することにより、原子力防災組織の技能向上及び緊急時対応業務の習熟を図ることを目的とした要素訓練を実施する。

また、本訓練では、他電力事業者に当社の対応を観察（意見交換含む）して頂くことで、改善事項を抽出し、当社の手順・運用に反映することで現場対応力向上を図っていく。

なお、原子力規制庁の『令和元年度評価指標（実用発電用原子炉）』における「指標7. 現場実働訓練の実施」の位置付け及び「訓練シナリオ開発WG」下で計画されているⅡ型訓練の位置付けも兼ねて実施する。

2. 実施日時

2020年3月13日（金）

訓練：13時00分～15時00分

訓練振り返り：15時00分～15時30分

3. 想定事象

(1) プラント状態

定期検査停止中

（炉心に燃料なし。SFPに2,202体保管中（新燃料含む））

(2) 事象

訓練シナリオにつき、マスキング実施

(3) 今回訓練に使用可能な水源

訓練シナリオにつき、マスキング実施

(4) スキップの有無等

訓練中は事象の早回し及びスキップの実施なし。

(5) E R S Sの使用

S F P水位のパラメータ等の必要な情報はコントローラから付与することとし、E R S Sは使用しない。

4. 訓練項目

(1) 要素訓練

訓練シナリオにつき、マスキング実施

5. 訓練内容

(1) 実施体制

東海第二発電所の単独訓練（本店との連携あり）

(2) 訓練参加者

役割	人数規模	
訓練者	災害対策本部：60名程度	現場：6名（指揮者1名，要員5名）
コントローラ	災害対策本部：9名	現場：1名

(3) 訓練内容・実施場所

訓練シナリオにつき，マスクング実施

(4) 実施場所

訓練シナリオにつき，マスクング実施

(5) 訓練基本シナリオ

訓練シナリオにつき、マスクング実施

訓練シナリオにつき、マスキング実施

6. 評価方法

(1) 社内評価（本店及び所内）

評価チェックシートを用いて活動を評価する。

(2) 第三者による評価（他電力事業者）

Ⅱ型訓練観察チェックシートを用いて活動を評価する。

(3) 反省会

訓練参加者及び訓練事務局にて反省会を実施し、改善事項を抽出する。

(4) 振り返り・質疑応答

他電力事業者からの訓練観察者と振り返り・質疑応答を実施し、改善事項を抽出する。

7. 添付資料

(1) 添付資料1

東海第二発電所 II型訓練説明資料（実施要領，評価項目及び評価方法）

(2) 添付資料2

II型訓練観察チェックシート

以上